

2011年7月28日

小美玉市立小中学校の規模及び配置の適正化に関する基本的な考え方（構成案）

1. 諮問事項と検討の経緯
2. 小美玉市における学校教育の現状と課題
3. 学校規模・学校配置適正化の基本的な考え方
 - (1) 小美玉市の学校教育がめざすべき方向性
 - ① 学校教育のビジョンと目標
 - ② 子どもたちの豊かな学びのために
 - ③ 小中一貫などの新しい学校づくり
 - (2) 学校規模の適正化についての基本的な考え方
 - ① 学校規模（学年の学級数）の標準と対策必要規模
 - ② 学級規模についての考え方
 - ③ 教職員配置についての考え方
 - (3) 学校配置の適正化についての基本的な考え方
 - ① 通学区域の見直しについての考え方
 - ② 学校の統合についての考え方
 - ③ 通学手段についての考え方
4. 適正化の取り組みについての基本的な考え方
 - (1) 市民の理解
 - (2) 学校・保護者・地域・行政の連携

資料

これからの小美玉市の小中学校の在り方を考える意向調査
小学校規模別クロス集計（抄）

これからの小美玉市の小中学校の在り方を考える意向調査
小学校規模別クロス集計（抄）（2011.7.22）

I 小学校規模分類

表1 小学校規模分類

	児童数
小規模小学校	200人未満
中規模小学校	200人以上300人未満
大規模小学校	300人以上

II 結果

*以下、問の番号は2011.7.14付の単純集計速報版と対応している。

9. 現在、あなたのお子さんが通っている学校の児童生徒数について、どのように感じますか。*小学校と中学校にお子さんが通っている場合は、小学校についてお答えください。（現在、あなたが勤務している学校の児童数/生徒数について、どのように感じますか。）

表2 児童生徒数についての受け止め方（小学校保護者）

		もっと多い 方が良い	ちょうど良 い	もっと少な い方が良 い	わからな い	合計人数
全校児童 生徒数	小規模小学校	52.2	40.3	2.2	2.6	230
	中規模小学校	31.4	58.3	2.1	5.5	616
	大規模小学校	10.7	76.4	6.5	6.5	1333
1学級あた り児童生 徒数	小規模小学校	34.1	52.8	10.9	2.2	229
	中規模小学校	4.5	55.0	37.2	3.2	616
	大規模小学校	1.7	60.1	35.4	2.7	1329

表3 児童生徒数についての受け止め方（小学校教員）

		もっと多い 方が良い	ちょうど良 い	もっと少な い方が良 い	わからな い	合計人数
全校児童 生徒数	小規模小学校	58.6	41.4	0.0	0.0	29
	中規模小学校	34.7	65.3	0.0	0.0	49
	大規模小学校	2.2	69.9	26.9	1.1	93
1学級あた り児童生 徒数	小規模小学校	44.8	41.4	10.3	3.4	29
	中規模小学校	0.0	25.5	74.5	0.0	47
	大規模小学校	0.0	40.9	58.1	1.1	93

これからの小美玉市の小中学校の在り方を考える意向調査
小学校規模別クロス集計（抄）

10. 小、中学校の1学級あたりの児童生徒数は何人程度が望ましいと思いますか。小学校、中学校それぞれについて、選択肢の中から一つ選んで番号に○をつけてください。

表4 1学級あたりの望ましい児童生徒数（小学校保護者）

		10人以下	11～20人	21～30人	31～35人	36～40人	分からない	合計人数
小学校	小規模小学校	0.4	34.3	53.2	8.6	2.1	1.3	233
	中規模小学校	0.2	22.4	60.5	13.1	1.8	2.1	626
	大規模小学校	0.1	13.2	63.7	19.3	1.9	1.9	1335
中学校	小規模小学校	0.5	8.9	62.0	25.8	1.4	1.4	213
	中規模小学校	0.0	13.8	53.5	24.7	3.9	4.1	559
	大規模小学校	0.2	9.8	49.1	32.5	3.8	4.7	1200

表5 1学級あたりの望ましい児童生徒数（市民）

		10人以下	11～20人	21～30人	31～35人	36～40人	分からない	合計人数
小学校	小規模小学校	0.0	34.0	52.0	10.0	0.0	4.0	50
	中規模小学校	0.9	19.1	60.9	13.0	3.5	2.6	115
	大規模小学校	0.0	16.8	57.1	19.4	2.6	4.0	273
中学校	小規模小学校	0.0	10.4	62.5	16.7	6.2	4.2	48
	中規模小学校	0.9	13.0	55.6	23.1	5.6	1.9	108
	大規模小学校	0.4	12.5	48.4	28.9	5.9	4.0	273

表6 1学級あたりの望ましい児童生徒数（小学校教員）

		10人以下	11～20人	21～30人	31～35人	36～40人	分からない	合計人数
小学校	小規模小学校	0.0	32.3	67.7	0.0	0.0	0.0	31
	中規模小学校	0.0	12.2	85.7	2.0	0.0	0.0	49
	大規模小学校	0.0	18.2	77.3	4.5	0.0	0.0	88
中学校	小規模小学校	0.0	11.5	76.9	7.7	0.0	3.8	26
	中規模小学校	0.0	2.5	72.5	22.5	0.0	2.5	40
	大規模小学校	0.0	6.9	65.3	26.4	0.0	1.4	72

これからの小美玉市の小中学校の在り方を考える意向調査
小学校規模別クロス集計（抄）

11. 小、中学校の1学年あたりの学級数は何学級程度が望ましいと思いますか。小学校、中学校それぞれについて、選択肢の中から一つ選んで番号に○をつけてください。

表7 1学年あたりの望ましい学級数（小学校保護者）

		1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級以上	分からない	合計人数
小学校	小規模小学校	22.5	38.1	22.9	3.0	0.9	0.9	11.7	231
	中規模小学校	3.8	56.6	25.2	2.2	2.1	0.3	9.8	631
	大規模小学校	0.1	35.0	48.1	4.9	1.6	0.8	9.5	1353
中学校	小規模小学校	0.5	12.1	53.7	13.1	5.6	2.3	12.6	214
	中規模小学校	0.2	9.0	49.7	17.0	7.8	1.2	15.0	575
	大規模小学校	0.1	2.2	17.0	15.1	21.7	18.1	25.9	1247

表8 1学年あたりの望ましい学級数（市民）

		1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級以上	分からない	合計人数
小学校	小規模小学校	18.0	24.0	32.0	6.0	4.0	0.0	16.0	50
	中規模小学校	1.7	35.7	29.6	17.4	0.0	0.0	15.7	115
	大規模小学校	0.0	23.8	45.4	9.5	3.7	1.5	16.1	273
中学校	小規模小学校	0.0	0.0	63.3	14.3	8.2	0.0	14.3	49
	中規模小学校	0.9	3.5	37.2	27.4	11.5	0.9	18.6	113
	大規模小学校	0.0	3.3	27.8	20.4	20.4	8.1	20.0	270

表9 1学年あたりの望ましい学級数（小学校教員）

		1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級以上	分からない	合計人数
小学校	小規模小学校	3.2	64.5	32.3	0.0	0.0	0.0	0.0	31
	中規模小学校	0.0	58.0	40.0	2.0	0.0	0.0	0.0	50
	大規模小学校	0.0	50.5	45.1	3.3	0.0	0.0	1.1	91
中学校	小規模小学校	0.0	11.1	40.7	29.6	11.1	3.7	3.7	27
	中規模小学校	0.0	2.2	37.0	41.3	13.0	0.0	6.5	46
	大規模小学校	0.0	1.4	20.3	39.2	32.4	2.7	4.1	74

これからの小美玉市の小中学校の在り方を考える意向調査
小学校規模別クロス集計（抄）

12. 小学校／中学校の規模についての質問です。児童／生徒が減って小学校／中学校が小規模になってきた場合、どの程度になれば適正な規模を維持するための対策をとるべきだと思いますか。次の選択肢の中からあなたの考えに最も近いものを一つ選び、番号に○をつけてください。

表 10 対策が必要になる学校規模（小学校保護者）

		学年2学 級で対策	学年1学 級で対策	学年20名 で対策	学年10名 で対策	学年5名で 対策	対策必要 なし	その他	分からな い	合計人数
小学校	小規模小学校	1.3	3.5	19.9	29.4	29.9	4.3	0.4	11.3	231
	中規模小学校	2.9	11.2	37.2	33.5	6.7	2.1	0.6	5.8	626
	大規模小学校	2.6	24.2	30.4	25.1	4.8	3.2	0.2	9.4	1350
中学校	小規模小学校	8.8	26.4	26.9	13.2	4.0	6.6	0.0	14.1	227
	中規模小学校	14.4	31.9	24.8	14.7	3.0	2.5	0.3	8.4	605
	大規模小学校	25.6	20.8	20.3	10.5	2.0	3.3	0.7	16.8	1322

表 11 対策が必要になる学校規模（市民）

		学年2学 級で対策	学年1学 級で対策	学年20名 で対策	学年10名 で対策	学年5名で 対策	対策必要 なし	その他	分からな い	合計人数
小学校	小規模小学校	6.0	4.0	36.0	28.0	18.0	4.0	0.0	4.0	50
	中規模小学校	8.2	20.0	28.2	27.3	10.9	2.7	0.0	2.7	110
	大規模小学校	10.0	29.9	27.3	20.7	3.7	1.5	1.1	5.9	271
中学校	小規模小学校	23.1	23.1	30.8	13.5	0.0	3.8	0.0	5.8	52
	中規模小学校	23.0	25.7	27.4	13.3	5.3	0.9	0.0	4.4	113
	大規模小学校	32.4	27.6	18.9	9.1	1.5	1.1	1.5	8.0	275

表 12 対策が必要になる学校規模（小学校教員）

		学年2学 級で対策	学年1学 級で対策	学年20名 で対策	学年10名 で対策	学年5名で 対策	対策必要 なし	その他	分からな い	合計人数
小学校	小規模小学校	0.0	6.5	22.6	38.7	32.3	0.0	0.0	0.0	31
	中規模小学校	0.0	20.0	34.0	40.0	6.0	0.0	0.0	0.0	50
	大規模小学校	1.1	16.7	26.7	45.6	7.8	1.1	0.0	1.1	90

これからの小美玉市の小中学校の在り方を考える意向調査
 小学校規模別クロス集計 (抄)

13. 小学校/中学校の配置についての質問です。小学校/中学校の適正な規模を維持するために、どのような対策が望ましいと思いますか。次の選択肢の中からあなたの考えに最も近いものを一つ選び、番号に○をつけてください。

表 13 適正な規模を維持するための対策 (小学校保護者)

		通学区域 見直し, 統 合あり	通学区域 見直し, 統 合なし	通学区域 見直しな し, 統合あ り	学校間交 流	対策必要 なし	その他	分からな い	合計人数
小学校	小規模小学校	27.0	28.7	3.0	20.9	4.3	2.2	13.9	230
	中規模小学校	39.1	27.3	3.7	11.7	1.9	1.4	14.8	622
	大規模小学校	31.0	31.0	2.3	13.7	2.1	0.8	19.1	1356
中学校	小規模小学校	32.4	25.7	2.7	15.8	6.3	1.8	15.3	222
	中規模小学校	38.8	28.9	4.6	8.7	2.0	0.3	16.7	606
	大規模小学校	34.0	27.1	2.4	10.4	2.0	1.2	22.8	1321

表 14 適正な規模を維持するための対策 (市民)

		通学区域 見直し, 統 合あり	通学区域 見直し, 統 合なし	通学区域 見直しな し, 統合あ り	学校間交 流	対策必要 なし	その他	分からな い	合計人数
小学校	小規模小学校	39.2	31.4	3.9	15.7	0.0	0.0	9.8	51
	中規模小学校	46.9	25.7	6.2	11.5	0.0	0.9	8.8	113
	大規模小学校	40.7	30.4	1.5	12.1	1.1	1.8	12.5	273
中学校	小規模小学校	40.4	34.6	1.9	13.5	0.0	0.0	9.6	52
	中規模小学校	53.5	21.1	6.1	7.0	2.6	0.0	9.6	114
	大規模小学校	47.1	26.4	1.8	10.5	1.1	1.4	11.6	276

表 15 適正な規模を維持するための対策 (小学校教員)

		通学区域 見直し, 統 合あり	通学区域 見直し, 統 合なし	通学区域 見直しな し, 統合あ り	学校間交 流	対策必要 なし	その他	分からな い	合計人数
小学校	小規模小学校	38.7	38.7	3.2	6.5	3.2	0.0	9.7	31
	中規模小学校	62.0	24.0	4.0	2.0	0.0	2.0	6.0	50
	大規模小学校	54.9	22.0	9.9	5.5	1.1	1.1	5.5	91

これからの小美玉市の小中学校の在り方を考える意向調査
中学校別クロス集計（抄）

これからの小美玉市の小中学校の在り方を考える意向調査
中学校別クロス集計（抄）（2011. 7. 27）

I 結果

*以下、問の番号は2011.7.14付の単純集計速報版と対応している。

9. 現在、あなたのお子さんが通っている学校の児童生徒数について、どのように感じますか。*小学校と中学校にお子さんが通っている場合は、小学校についてお答えください。（現在、あなたが勤務している学校の児童数/生徒数について、どのように感じますか。）

表1 生徒数についての受け止め方（中学生保護者（小学生児童のいる保護者を除く））

		もっと多い 方が良い	ちょうど良 い	もっと少な い方が良 い	わからな い	合計人数
全校生徒 数	小川南	25.0	68.1	0.9	6.0	116
	小川北	46.3	46.3	1.9	5.6	54
	美野里	2.3	37.6	54.9	5.2	173
	玉里	34.1	61.4	1.1	3.4	88
1学級あた り生徒数	小川南	2.6	72.4	21.6	3.4	116
	小川北	5.6	50.0	40.7	3.7	54
	美野里	0.6	37.9	59.2	2.3	174
	玉里	6.7	56.7	33.3	3.3	90

表2 児童生徒数についての受け止め方（中学校教員）

		もっと多い 方が良い	ちょうど良 い	もっと少な い方が良 い	わからな い	合計人数
全校生徒 数	小川南	11.1	88.9	0.0	0.0	18
	小川北	52.9	41.2	5.9	0.0	17
	美野里	0.0	16.7	80.0	3.3	173
	玉里	44.4	55.6	0.0	0.0	18
1学級あた り生徒数	小川南	0.0	42.1	57.9	0.0	19
	小川北	0.0	29.4	70.6	0.0	17
	美野里	0.0	6.5	93.5	0.0	31
	玉里	0.0	44.4	55.6	0.0	18

これからの小美玉市の小中学校の在り方を考える意向調査
中学校別クロス集計 (抄)

10. 小, 中学校の1学級あたりの児童生徒数は何人程度が望ましいと思いますか。小学校, 中学校それぞれについて, 選択肢の中から一つ選んで番号に○をつけてください。

表3 1学級あたりの望ましい児童生徒数 (中学生保護者)

		10人以下	11~20人	21~30人	31~35人	36~40人	分からない	合計人数
小学校	小川南	0.0	10.5	60.3	24.5	3.1	1.7	229
	小川北	1.3	24.2	55.6	17.6	0.7	0.7	153
	美野里	0.0	10.3	67.1	20.7	1.1	0.7	435
	玉里	0.0	26.3	57.9	9.9	2.3	3.5	171
中学校	小川南	0.0	10.3	49.1	32.9	5.6	2.1	234
	小川北	0.7	13.1	53.8	30.3	1.4	0.7	145
	美野里	0.2	8.1	50.9	35.3	4.4	0.9	430
	玉里	0.0	10.7	61.0	21.5	2.8	4.0	177

表4 1学級あたりの望ましい児童生徒数 (中学校教員)

		10人以下	11~20人	21~30人	31~35人	36~40人	分からない	合計人数
小学校	小川南	0.0	7.1	78.6	14.3	0.0	0.0	14
	小川北	0.0	30.8	46.2	23.1	0.0	0.0	13
	美野里	0.0	26.9	73.1	0.0	0.0	0.0	26
	玉里	21.4	42.9	28.6	7.1	0.0	0.0	14
中学校	小川南	0.0	5.9	76.5	17.6	0.0	0.0	17
	小川北	0.0	0.0	76.5	23.5	0.0	0.0	17
	美野里	0.0	6.5	61.3	32.3	0.0	0.0	31
	玉里	0.0	0.0	55.6	44.4	0.0	0.0	18

11. 小, 中学校の1学年あたりの学級数は何学級程度が望ましいと思いますか。小学校, 中学校それぞれについて, 選択肢の中から一つ選んで番号に○をつけてください。

表5 1学年あたりの望ましい学級数 (中学生保護者)

		1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級以上	分からない	合計人数
小学校	小川南	1.3	32.5	45.5	8.2	2.6	0.9	9.1	231
	小川北	8.4	48.1	32.5	5.2	0.0	1.3	4.5	154
	美野里	0.0	35.9	45.8	5.0	2.9	1.6	8.8	443
	玉里	7.7	39.3	36.3	3.6	1.2	0.6	11.3	168
中学校	小川南	0.0	1.2	50.8	28.1	10.7	0.8	8.3	242
	小川北	0.0	10.1	66.4	14.8	2.7	0.7	5.4	149
	美野里	0.0	0.2	9.9	17.0	24.7	30.9	17.2	453
	玉里	0.6	12.3	64.8	7.8	2.8	0.0	11.7	179

これからの小美玉市の小中学校の在り方を考える意向調査
中学校別クロス集計（抄）

表6 1学年あたりの望ましい学級数（中学校教員）

		1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級以上	分からない	合計人数
小学校	小川南	0.0	35.7	64.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14
	小川北	0.0	38.5	61.5	0.0	0.0	0.0	0.0	13
	美野里	0.0	23.1	57.7	19.2	0.0	0.0	0.0	26
	玉里	0.0	28.6	64.3	0.0	7.1	0.0	0.0	14
中学校	小川南	0.0	0.0	72.2	22.2	5.6	0.0	0.0	18
	小川北	0.0	0.0	62.5	31.2	6.2	0.0	0.0	16
	美野里	0.0	0.0	9.7	51.6	32.3	6.5	0.0	31
	玉里	0.0	0.0	55.6	38.9	0.0	0.0	5.6	18

12. 小学校／中学校の規模についての質問です。児童／生徒が減って小学校／中学校が小規模になってきた場合、どの程度になれば適正な規模を維持するための対策をとるべきだと思いますか。次の選択肢の中からあなたの考えに最も近いものを一つ選び、番号に○をつけてください。

表7 対策が必要になる学校規模（中学生保護者）

		学年2学級で対策	学年1学級で対策	学年20名で対策	学年10名で対策	学年5名で対策	対策必要なし	その他	分からない	合計人数
小学校	小川南	7.4	22.7	31.4	25.2	6.6	2.1	0.8	3.7	242
	小川北	1.9	14.3	31.2	27.3	14.3	1.3	1.3	8.4	154
	美野里	2.9	23.5	30.8	26.3	4.2	2.7	0.2	9.5	452
	玉里	1.7	7.8	30.6	33.3	12.8	5.6	0.0	8.3	180
中学校	小川南	25.4	31.6	20.1	9.8	5.3	2.0	0.8	4.9	244
	小川北	12.8	37.2	30.1	5.8	3.2	0.6	0.6	9.6	156
	美野里	30.1	18.2	23.6	9.5	0.9	3.9	1.1	12.8	462
	玉里	9.1	31.2	24.2	17.2	2.2	8.1	0.0	8.1	186

表8 対策が必要になる学校規模（中学校教員）

		学年2学級で対策	学年1学級で対策	学年20名で対策	学年10名で対策	学年5名で対策	対策必要なし	その他	分からない	合計人数
中学校	小川南	16.7	61.6	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18
	小川北	23.5	29.4	23.5	11.8	0.0	0.0	5.9	5.9	17
	美野里	25.8	45.2	22.6	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	31
	玉里	5.6	61.1	5.6	11.1	0.0	5.6	0.0	11.1	18

これからの小美玉市の小中学校の在り方を考える意向調査
中学校別クロス集計（抄）

13. 小学校／中学校の配置についての質問です。小学校／中学校の適正な規模を維持するために、どのような対策が望ましいと思いますか。次の選択肢の中からあなたの考えに最も近いものを一つ選び、番号に○をつけてください。

表9 適正な規模を維持するための対策（中学生保護者）

		通学区域 見直し, 統 合あり	通学区域 見直し, 統 合なし	通学区域 見直しな し, 統合あ り	学校間交 流	対策必要 なし	その他	分からな い	合計人数
小学校	小川南	41.9	27.4	3.3	11.6	1.2	0.0	14.5	241
	小川北	40.6	22.6	5.2	16.8	2.6	1.9	10.3	155
	美野里	29.7	33.0	2.9	10.6	1.8	0.7	21.4	454
	玉里	40.1	28.2	2.8	15.8	1.7	0.0	11.3	177
中学校	小川南	45.1	26.6	4.1	9.4	1.2	0.0	13.5	244
	小川北	43.6	26.3	4.5	12.8	2.6	0.6	9.6	156
	美野里	33.7	28.3	2.8	8.7	2.2	1.3	23.0	460
	玉里	35.7	30.3	1.1	15.1	4.9	0.5	12.4	185

表10 適正な規模を維持するための対策（中学校教員）

		通学区域 見直し, 統 合あり	通学区域 見直し, 統 合なし	通学区域 見直しな し, 統合あ り	学校間交 流	対策必要 なし	その他	分からな い	合計人数
中学校	小川南	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18
	小川北	47.1	11.8	17.6	5.9	0.0	5.9	5.9	17
	美野里	61.3	32.3	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	31
	玉里	58.8	29.4	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	17

2011.07.28 13:30～

「これからの小美玉市の小中学校の在り方を考える意向調査」（平成23年5-6月実施）
自由記述まとめ（速報）

＜自由記述回答内訳：調査票の回収数に占める自由記述の数とその割合＞

保護者 : 381/2730 (13.9%)
 小学校教員 : 31/177 (17.5%)
 中学校教員 : 16/86 (18.6%)
 市民 : 121/455 (26.5%)
 計 : 549/3448 (15.9%)

数字は登場回数

◎児童生徒の登下校にかかわるキーワード					
ワード	合計	保護者	小学校教員	中学校教員	市民
通学	181	127	7	4	43
(スクール)バス	83	63	5	1	14
安全	55	44	1	0	10
距離	39	34	0	2	3
送迎	8	8	0	0	0
事故	7	6	0	0	1
自力	6	6	0	0	0

【総括】

保護者を中心に懸念されていたことは子どもたちの通学に関する問題で、通学距離が延び、通学時間が長くなってしまふことに対する不安である。仮に通学距離が延びるとしたらスクールバスを行政負担で運行させ、子どもたちの登下校時の安全を確保してほしいという要望が多かった。また、スクールバスを運行させて通学区域を拡大し、ある程度の児童・生徒数を確保できるような学校の統廃合を望むという記述もみられた。ただし、できるだけ子どもたちが自力（徒歩）で通えるように、保護者が車で送迎する負担を強いられないことも望んでいるようである。

(例1) もし小学校統合などとなった場合、子供たちで歩いて通学することが難しくなる地域も出てくる可能性もあろうかと思ひます。そうなれば、スクールバスなどの導入も検討されるであろうと思ひます。しかし、子供達は四季を体で、心で感じながら、大きい学年の子が小さい学年の子の面倒を見たりしながら、登校することも、一つの大きな学習だと思ひます。そういった良い面も残していただけたら嬉しく思ひます(保護者)。

(例2) 理想は、特に中学生になると、子供達が競争し合える環境が必要だと思ひるので、各学校内の生徒数は多い方が望ましいが、自力で登校出来なくなる状況はあまり好ましくないと思ひるので一概に統合すれば良いというものではない気がする(保護者)。

(例3) 生徒数は、ある程度いた方が良いと思ひます。少なければ統合すべきだと思ひます。その際、通学路が遠くなるのならば、スクールバスも視野に入れても良いのではないのでしょうか。生徒数の少ない学校と生徒数の多い学校で先生の人数に大差がないのは、おかしいと思ひます。統合することで、先生の人数に余裕ができ、ゆとりある充実した教育が出来るのではないかと思ひました(保護者)。

(例4) 現代社会において、多様な文化や考え方を学び、協調する機会を得て、学ぶということは、非常に重要だと考えます。その為には、ある程度の生徒(児童)数、学級数は必要と思ひます。それを維持する為には、例えば通学の便が悪くなる、等の問題がでてくれば、スクールバスの充実等の検討が必要と考えます(市民)。

◎児童生徒の学校・学級生活にかかわるキーワード

ワード	合計	保護者	小学校教員	中学校教員	市民
先生/教員	77	65	1	2	9
美野里(中)	43	30	0	2	11
指導	29	14	4	3	8
授業	23	18	1	0	4
先生/教師の目	23	22	0	0	1
部活	17	14	0	0	3
行事	11	8	0	0	3
クラス替え	10	6	1	0	3
複式	8	5	0	1	2
競争	6	3	2	0	1

【総括】

現在の美野里中学校に関する記述が多くみられた。主として、現在、4つの小学校より進学してくることにより生徒数が多過ぎるため、分割してほしいという指摘がみられた。

「美野里中は『マンモス校』」という表現すら散見された。

統合にあたり、学校・学級規模が拡大することによる懸念として、教師の目が子どもたちに行き届かなくなるのではないかとといった指摘が多くみられた。教師が余裕を持って授業や指導を行えるような環境を望みつつ、一方で、子どもたちの学習・生活集団が小規模化することによる子ども同士の切磋琢磨や競争心などが持ちにくくなるのではないかとといったこともあわせて指摘されていた。望ましい学校規模として想定されていたのは、「クラス替えができる」規模であり、人間関係に幅を持たせる必要性が挙げられていた。

(例1)今の美野里中学校のように、小学校4校が1つの中学校に通わないで、分けるべきだと思います。先生の目も届かなくなっているのではないのでしょうか(保護者)。

(例2)学校を大きくすればよいということではない。大切なのは、教師の目が行き届く、クラスの人数であり、学校の規模である。先生方が余裕をもって教育に取り組める環境を整えていただきたい(保護者)。

(例3)少人数の学級や学校であると教師の目が行き届く場合が多いと思うが、児童生徒が、互いに協力しあう場面、また切磋琢磨する場面は、限られてしまうように感ずる。1学級の児童数は減らし、学校全体としての児童数は確保していくのが望ましいと考える。つまりは、学校に勤務する教員数も確保できるというわけである。規模や配置または、指導要領うんぬんよりも、1人の子どもに関わる大人の人数を増やす事が何よりも、学力向上、また手厚い指導へと結びつくのではないだろうか?(保護者)。

(例4)小規模校には、1人1人に目が届きやすく、アットホームな感じで良いところも多いが、ある程度人数がいないと競争心やさらに自分を高めようという気持ちが育ちにくい。学年1学級しかないと、小学校では6年間、同じ友だちと過ごすことになり、良い関係ばかりが続くとも限らない。できれば毎年クラス替えをして、新しい人間関係が築けると良い。どうしても合わない児童同士を離すこともできる。ただ2学級では組み合わせが限定さえ編成が難しい場合もあるので最低学年3学級が望ましい(小学校教員)。

◎その他のキーワード

ワード	合計	保護者	小学校教員	中学校教員	市民
地域	64	38	7	5	14
アンケート	28	22	0	0	6
少子化	21	12	0	0	9
交流	19	13	1	0	5
県の指針	14	11	2	1	0

【総括】

「地域」というキーワードが多くみられたが、学校は地域の中にあるという社会的価値への注目や、統廃合を進めていくにあたっては地域（住民）の意見をもっと取り入れてほしい、地域の実情にあった統廃合を実施してほしいといった記述がみられた（「県の指針」に沿うことに対する不満）。特に、3月の大震災を経験し防災拠点・避難場所として学校の存在を再認識する傾向もあるようである。

また、今回のアンケート調査（意向調査）の実施意図や活用方法をめぐる指摘もみられた。アンケートが「統合を前提にしている」と受け取った回答者や市の現状等が把握できずおらず回答が難しかったとする回答者もいたようである。

（例1）「市の財政や県の指針もあると思いますが、地域の中で小・中学校が担っている役割は大きいと思います。統合によって、地域の文化がすたれ、活気のない地域になっていくことを考えると、人数少なくとも、現状の学校規模を維持していただきたいと切望します。子供達の元気な姿は、地域の元気のもとです（保護者）。

（例2）県の指針に合わせる必要があるのか？1学級を20～30人ぐらいにすれば良いのではないか。今回、防災の関係もあり、地域住民も現在の学校を残してほしいと思っているはず。簡単に学校を統合してほしい（保護者）。

（例3）児童数が減少してきて淋しいこともありますが、小学校を通して地域の方々と交流ができて、「顔見知り」になることで安心感が持てるようになります。地域ぐるみで協力し合うことはとても良い事だと思うので安易に統合への賛成は小学校では出来ません。又、近くの小学校は避難場所にもなっています。今回のような大きな地震があると、やはり近くに設置してあることは良い事だと思います（保護者）。

（例4）このアンケートについて、小学校や中学校の統合がありうるのを前提としてのものならば、どこどこが一緒になるかもしれないなどの資料やサンプルなどをもっと添付してほしい。何の知識もない現状でのこのアンケートは難しく思えた（保護者）。

（例5）県の指針などあるようですが、とにかく現場（地元）しか分からない事があると思うので、きちんと小美玉市として対応できるようにしてほしいです（保護者）。

小美玉市立小中学校の規模及び配置の適正化に関する基本的な考え方(構成案)についてのグループ討議で出された意見

1. 諮問事項と検討の経緯

2. 小美玉市における学校教育の現状と課題

3. 学校規模・学校配置適正化の基本的な考え方

(1) 小美玉市の学校教育がめざすべき方向性

① 学校教育のビジョンと目標

- ・ 確かな学力とたくましい体を持ち、郷土を愛する人づくり (知・徳・体)
- ・ 自己の信念を確立できる教育、心豊かで協調性のある教育
- ・ 社会的規範を身につけ、思いやりのある児童生徒の育成

② 子どもたちの豊かな学びのために

- ・ 楽しく生き生きとした学校、児童・生徒同士が互いに信頼できる学校
- ・ 児童生徒と教師・保護者が常に話し合える雰囲気为学校づくり
- ・ 基礎学力を身につけ、人間としての生き方を考える力を身につける教育
- ・ 「豊かな学び」の表記を具体的に表してはどうか?
- ・ 学校は避難所の指定にもなっており、絶対的に安全な場所でなければならないことから、耐震化等を含めた施設の安全面等を表記すべきでは?

③ 小中一貫などの新しい学校づくり

- ・ 「小中一貫など」が入らない新しい学校づくり

(2) 学校規模の適正化についての基本的な考え方

① 学校規模(学年の学級数)の標準と対策必要規模

- ・ 小中とも1学年2～3学級とする
- ・ 1学年20名で対策を考える、又は1学級で考える
- ・ 小学校区単位の地区懇談会を開いて理解を得る
- ・ 小学校1学年2学級以上、中学校1学年3学級以上とする(上限を付けるべきか?)

② 学級規模についての考え方

- ・ 1学級児童生徒数は20～30人くらいとする
- ・ 学級規模は将来のための学力向上競争ができる3～5学級がよい
- ・ 1学級35名以下とする(小中学校ともに)

③ 教職員配置についての考え方

- ・ 教員数の増員要望(国・県へ)を行っていく、また市独自の教職員配置を実施する

- ・教員数の増員要望（国・県へ）を行っていく、また市独自の教職員配置を実施する

④その他

- ・市民の理解を得るには「児童・生徒で考えるための教育」を強調する
- ・小学校は小規模でもいいのではないか？

(3) 学校配置の適正化についての基本的な考え方

①通学区域の見直しについての考え方

- ・通学距離の問題は、バス(スクール)で解決する。近い生徒は徒歩での対応
- ・通学区域を全廃し、どこの学校にも行けるようにしてはどうか？
- ・通学区域の見直しは行うべき

②学校の統合についての考え方

- ・市内の小学校（6校程度）、中学校（2～3校）に
- ・小中一貫校を考える必要あり（中学校を1つにして小学校3校を統合）
- ・通学区域を見直し統合を積極的に考える
- ・統廃合は慎重に考えて実施（少数・多数のメリット・デメリット等）
- ・学校の統合についても行うべき
- ・小学校で70人以下は統合。特に少ない学校は統合が必要

③通学手段についての考え方

- ・通学時間が40分以上かかる区間についてはスクールバスの運行を実施

4. 適正化の取り組みについての基本的な考え方

(1)市民の理解

- ・広く市民全体の理解を得る内容にするのか、適正配置が該当する地域住民に向けて表記するのか、意見が分かれた。

(2) 学校・保護者・地域・行政の連携

5. 具体的な統合案について(グループ討議の中で出た追加項目)

- ・これについては、基本方針を答申した後に実施計画を検討委員会で作成するため、基本方針の中ではいらないのではないか？（水本先生より）